

JGOG1078S:本邦における外陰腔悪性黒色腫に関する調査研究

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査の目的】

本邦における外陰腔悪性黒色腫についての調査研究を行い、患者背景及び治療方法の現状を把握し、今後外陰腔悪性黒色腫に対して前向き臨床試験を計画する際の有用な情報とする。

【対象】

1995年1月1日から2015年12月31日までの21年間に外陰腔悪性黒色腫の診断で治療を行った症例で、初回より緩和医療となった症例も含む。

目標調査症例数：200例

【調査項目】

<患者背景因子>

年齢

部位

Breslow 厚

TNM 進行期

潰瘍の有無

Mitotic rate

Microsatellite

腫瘍深

組織型サブタイプ

AJCC 進行期

<治療関連因子>

初回治療、治療開始日、治療終了日

手術

センチネルリンパ節切除術有無

術前、初回及び術後放射線療法：放射線単独(照射野、照射方法（根治照射、緩和照射）、総線量、治療期間、完遂率)

術前、初回及び術後同時化学放射線療法(照射野、照射方法、総線量、治療期間、レジメン、コース数、完遂率)

術前、初回及び術後化学療法：レジメン、コース数

<転帰>

再発の有無、再発確認日、再発治療、生存の有無、最終生存確認日

【調査期間】

2016年12月1日から2017年12月31日

【研究機関・組織】

特定非営利活動法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 (JGOG) 子宮頸がん委員会

【代表者連絡先】

久留米大学医学部産科婦人科 西尾 真